



女性のパワーが科学を、未来を創る

ワークライフバランスを応援します

## 日本女子大学

「女性研究者マルチキャリアパス  
支援モデル」

1901年・日本初の女子高等教育機関として創立、理系教育を重視し、実験を必修化  
1992年・私立女子大学初の理学部・理学研究科設立、前身の家政理学科・理学部を合わせ7,992名の理系女性を輩出している。  
学生数：学部6,280名、院生316名  
教員数：201名



女性研究者・技術者の「出産・育児と研究活動の両立」と「女性研究者の活躍の場の拡大」を目的としたものであり、以下の3つを柱として事業を推進している。

### 1) ユビキタスリサーチ支援

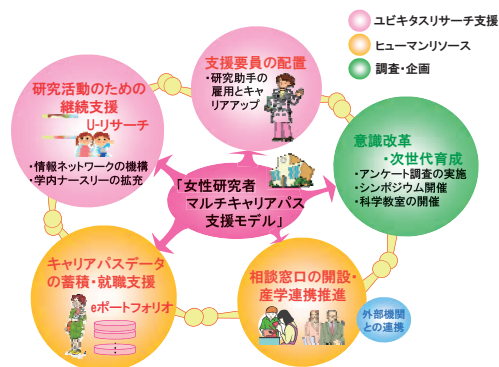
出産・育児中の研究者をいつでも、どこでも研究できるU-リサーチャーとして、非常勤の研究助手をつけ、自宅との間にIT技術を駆使して情報ネットワーク、テレビ会議システムを整備する。実験設備の遠隔操作システムの構築・利用などにより、自宅に居ても学内にあると同じ環境のもとで研究を継続できる。学内保育施設のほか、外部の病児保育機関と連携している。これらにより出産・育児に対してのバリアが低くなっている。研究者を支援している研究助手は自分自身のキャリアアップも図れる。

### 2) ヒューマンリソース

女性研究者の学歴・経歴・業績だけでなく特殊技能・資質などのキャリア蓄積を電子データベース化して、就職・転職、再就職、復帰などの際のジョブマッチング支援のために整備する。相談窓口、自己分析セミナー、サイエンスカフェなどを設け、多様なキャリアパスへの道を広げる。

### 3) 次世代育成のための調査・企画

次世代の女性研究者育成のために小中高校生を対象として、サマースクール、子ども科学教室などを開設、オープンキャンパスにより理系女性研究者のイメージ公開を行う。上記プロジェクトの成果の発表などのためにシンポジウムを開催している。卒業生の活動状況、課題抽出のために、アンケート調査を行った。理系卒業生の8割が理系を卒業してよかったと感じていることが示された。



ユビキタスリサーチャーとのテレビ会議システムを用いた研究打合せ

総括責任者名：日本女子大学 学長 後藤祥子  
実施責任者名：日本女子大学 理学部 教授 小舘香椎子  
推進室等の名称・連絡先：  
女性研究者マルチキャリアパス支援プロジェクト推進室  
TEL/FAX：03-5981-4154 e-mail：mcp@fc.jwu.ac.jp  
URL：http://mcm-www.jwu.ac.jp/~mcpweb



プロジェクト概要

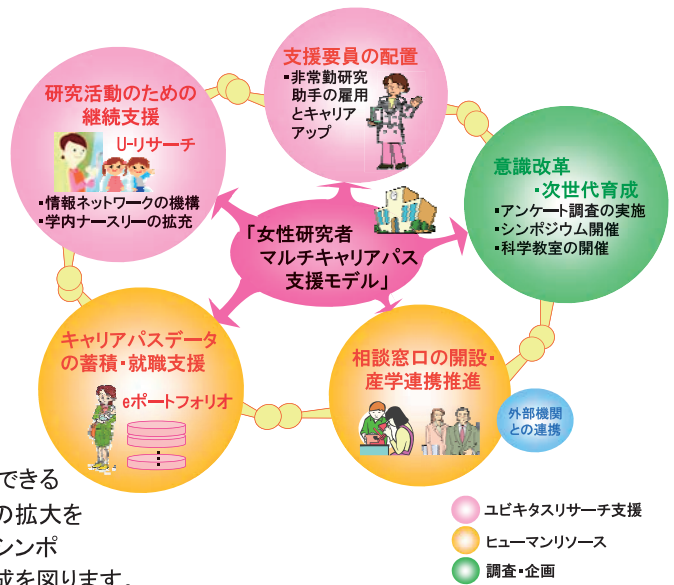
期間 : 2006年7月14日～2009年3月31日
総括責任者 : 後藤 祥子 (日本女子大学学長)
プロジェクトリーダー : 小館香椎子 (日本女子大学理学部教授, 日本学術会議会員)
プロジェクト推進室長 : 遠山 嘉一 (日本女子大学大学院客員教授, 日本学術会議連携会員)

プロジェクトの取り組み

本プロジェクトの目的は「出産・育児と研究活動の両立支援」および「女性研究者の活躍の場の拡大」です。実現に向けて、

- ①ユビキタスリサーチによる支援
②ヒューマンリソース支援
③次世代女性研究者・技術者育成のための調査・企画

の3つの柱として実施していきます。女性研究者がさまざまな場所で活躍できることを示し、産学連携など就職に結びつける活動を通して女性研究者数の拡大を行います。また、プロジェクトにおける活動を次世代に広げ、科学教室やシンポジウムを開催し、科学の面白さを伝えることで継続的な女性研究者の育成を図ります。



ユビキタスリサーチ支援部門

ネットワークやコンピュータ・携帯電話を活用していつでもどこでも研究活動を行う環境づくり

U-リサーチャーの現状

U-リサーチャー : 7名
研究助手 : 14名
(2008年1月現在)



U-リサーチャーと遠隔会議

主な研究テーマ

- 高等植物における細胞内小器官の分化に関する微細構造学的研究
●鳥類の音声記憶についての神経行動学的研究
●回折型光機能デバイスの最適設計と評価
●タンパク質エネルギー栄養障害における免疫機能の解析と免疫増強成分の検索



天体顕微鏡遠隔操作システム

日本女子大学で病児保育支援がスタート

全国初！大学とNPOの連携による非施設型の病児保育支援

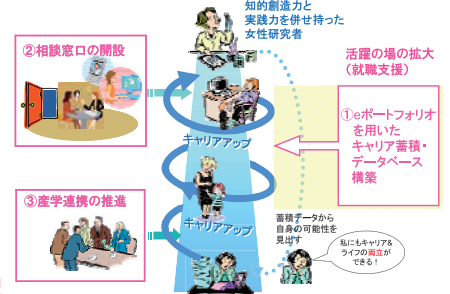
日本女子大学は、NPO法人フローレンスとパートナーシップ法人契約を結び、同大学に在籍する子育て中の女性研究員に対して、2007年10月より病児保育支援をおこなっています。



ヒューマンリソース

多様なキャリアを受け入れ、多様なキャリアパスで送り出すための支援

eラーニング大賞 (文部科学大臣賞) 受賞(2007.8.1)



展示会への出展

- 光ナノテクフェア2007 於:パシフィコ横浜 (2007.6.6-8)
●第6回京都産学官連携推進会議 於:国立京都国際会館 (2007.6.16-17)
●「応用物理」創刊75周年記念事業 暮らしを支える科学と技術展 -世界を変える応用物理- 於:科学技術館 (2007.8.3-4)
●イノベーションジャパン2007-大学見本市 於:東京国際フォーラム (2007.9.12-14)

自己分析セミナー実施！



将来のキャリアパスを考える相談窓口の1つとして自己分析セミナー(効き脳診断)を実施(2007.6.30)

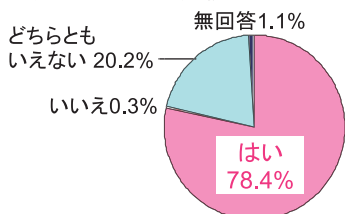
次世代女性研究者・技術者育成のための調査・企画

卒業生へのアンケート調査実施!!

『理系でよかった』8割 日本女子大卒業生調査 (2007年9月3日 朝日新聞)

実施日 : 2007年3月
対象者 : 家政学部家政理学科と理学部の28～47歳の卒業生(1才おき)
回答数 : 367名(回収率20%)

＜あなたは理系を選択してよかったと思いますか？＞



理系でよかったと思う人が78.4%

書籍出版

光できらめく理系女性たち -理想のワークライフバランスを目指して-



＜執筆＞ 元文部科学大臣 遠山敦子氏 次期東京工業大学学長 伊賀健一氏 榊東芝 執行役員 東実氏 朝日新聞社論説委員 辻篤子氏 他多数

監修 小館香椎子 (数物科学科教授) オプトロニクス 2007.8 刊行 働く女性研究者の体験談

科学教室の実施

理学部サマースクール(2007.8.2-9)

理学部共催

全16講座開講 参加人数 202名



中学生の科学教室(2007.8.25)

電子情報通信学会共催

参加人数 32名



夏休み自由研究シリーズ(2007.8.18-30)

LCC共催

全6講座開講 参加人数 114名

